

Dam

計画概要図



ダム事業の概要
大保ダムは、洪水調節、新たな水道用水の確保、既得取水の安定化及び河川環境保全のための流量の確保を目的に、大宜味村を流れる2級河川大保川に建設される多目的ダムで、奥間ダムとともに沖縄北部河川総合開発事業を構成しています。

事業の経緯
沖縄北西部河川総合開発事業は平成2年に建設事業に採択され、平成5年には基本計画が策定されました。その後平成7年に関連道路工事に着手し、平成8年には損失補償基準の協定を大宜味村と締結し、現在では付替道路が平成12年度末に完了の見込みとなっている他、用地補償も本ダム周辺を除き完了しております。

起工式
北部ダム事務所の主催により、仮排水路工事の起工式が昨年12月3日、現地のトンネル坑口付近で取り行われ、安川沖縄県技監、照屋大宜味村長、宮城東村長(代理)ら多数の来賓の間で、

また、今後ともヤンバルの豊かな自然に配慮して工事を進める所存でありますので、関係各位のなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



その4
開発建設部

大保ダム

沖縄北西部河川総合開発事業
~本ダム仮排水路工事起工式~

位部に脇ダムとしてロックフィルダムを建設します。総貯水容量は約1,000万m³で、完成すると沖縄県では福地ダムに次ぐ2番目の容量を誇るダムになります。

水道用水については、大保ダムと奥間ダムを導水路で結ぶとともに、本島北部西海岸の河川の県企業局のポンプ場から取水された水を大保ダムで安定化することにより、両ダムで日量=3,000m³を安定供給することが可能となり、これは県企業局が供給する水道用水の約2割を占める形になります。



起工式

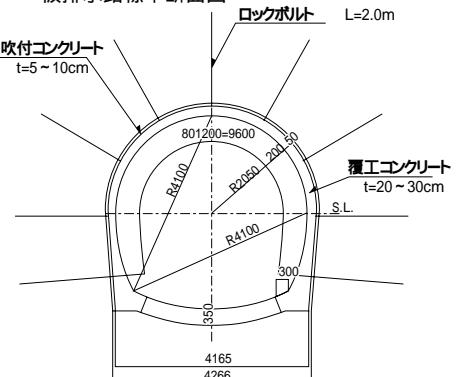
大保ダム諸元表

型 式	本ダム 重力式コンクリートダム 脇ダム ロックフィルダム
堤 高	本ダム 77.5m 脇ダム 61.0m
堤 頂 長	本ダム 380.0m 脇ダム 473.0m
堤 頂 標 高	本ダム EL73.5m 脇ダム EL75.0m
堤 体 積	本ダム 500,000m ³ 脇ダム 1,536,000m ³
集 水 面 積	13.3km ²
湛 水 面 積	0.89km ²
総貯水容量	20,050,000m ³
有効貯水容量	19,350,000m ³

仮排水路諸元表

集水面積	13.3km ²
対象流量	80m ³ /s 確率 1/1年
延 長	970m 吞口部 11m トンネル部 959m
勾 配	1/150

仮排水路標準断面図



方々の御出席をいただきました。起

工式は、川崎北部ダム事務所長の式辞により始まり、加納沖縄総合事務局次長の挨拶、田嶋北部ダム事務所副所長の工事概要の説明に続き、県技監・大宜味村長・東村長(代理)の方々からの祝辞をいたいた後に、沖縄総合事務局次長ら10名による鍵入れが行われ終了しました。

終わりに

このたびの仮排水路工事の着手により、北部ダム事務所はダム本体着工に向けて大きな一步を踏み出しました。今後は本ダム及び脇ダムの実施設計を進めるとともに、本体工の覚書を大宜味村と締結し、本体工事の早期発注に努めたいと考えております。

また、今後ともヤンバルの豊かな自然に配慮して工事を進める所存でありますので、関係各位のなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。